

主なプログラム

【寄付先団体からの報告】

これまで、寄付をさせていただいた団体から活動のご報告をいただきます。

大沼ラムサール協議会

道南の七飯町に位置する大沼は、2012年7月世界的な湿地を守る条約・ラムサール条約の湿地に登録されました。ほくく一基金の寄付を受けて、子どもたちで組織する大沼ラムサール隊が、ウシガエルなどの外来生物と生物多様性についての勉強会などを行いました。

釧路市動物園

釧路市動物園では、猛禽類、特にシマフクロウの保護・増殖に取り組んでおり、園内には、ほくく一基金からの寄付で作成した「ほくく一ゲージ」もあります。また、傷病タンチョウの保護・治療も行っています。

札幌ワイルドサーモンプロジェクト

カムバックサーモン運動によって、豊平川には多くのサケが遡上するようになりました。近年の調査で、自然産卵に由来するサケ(ワイルドサーモン)が全体の約7割いることがわかっています。今後は豊平川生まれの野生サケを優先的に保全していくため、放流数をコントロールする取り組みが行われます。

ユウパリオザクラの会

ユウパリオザクラの会は、夕張岳を愛し、自然を学び自然の恩恵に感謝する心を育み、かけがえのない自然を未来に引き継ぐことを、目的として活動しています。ほくく一基金からの寄付は、夕張岳ヒュッテ建替資金の一部として役立てられました。

写真提供：NPO法人シマフクロウ・エイド

基調講演

演題 『絶滅の危機に瀕した猛禽類との共生を目指して』



【講師】

齊藤 慶輔 獣医師(猛禽類医学研究所)

〈プロフィール〉

日本獣医畜産大学 野生動物学教室卒業。

幼少時代をフランスの田園地帯で過ごし、野生動物と人間の共存を肌で感じた生活を送る。

94年より環境省釧路湿原野生生物保護センターで野生動物専門の獣医師として活動を開始。

2005年に同センターを拠点とする猛禽類医学研究所を設立、その代表を務める。

絶滅の危機に瀕した猛禽類の保護活動の一環として、傷病鳥の治療と野生復帰に努めるのに加え、保全医学の立場から調査研究を行う。

近年、傷病・死亡原因を徹底的に究明し、その予防のための生息環境の改善を「環境治療」と命名し、活動の主軸としている。

著書「野生動物のお医者さん(講談社)」で第57回産経児童出版文化賞を受賞。

北海道の明日とともに



北海道で生きるみんなのために。

北洋銀行 ほくく一 定期預金

ほくく一定期預金にお預け頂くとその預金残高に応じた金額を当行が基金へ拠出します。

お取り扱い期間 平成29年4月1日(土)～平成30年3月31日(土)

1口1,000円以上
1,000万円未満

期間1年、自動継続型
スーパー定期預金
店頭表示金利を適用



ほくく一定期預金
特別デザイン通帳
もらえます!

平成29年9月現在

詳しくは、最寄りの北洋銀行本支店窓口または
右記フリーダイヤルへお問い合わせください。

0120-161-697

【受付時間】
9:00～17:00
(銀行休業日は除く)

北洋銀行
www.hokuyobank.co.jp